

## 令和元年度第2回府中市障害者等地域自立支援協議会会議録

■日 時：令和元年10月3日（木）午前10時

■場 所：府中市役所北庁舎3階 第1会議室

■出席者：（敬称略）

<委員>

河井文、桑田利重、高橋美佳、原郷史、犬飼知子、玉上博康、松林宏、  
田村智久、栗山恵久子、鹿内弘実、塚本美樹

<事務局>

障害者福祉課長、障害者福祉課長補佐  
障害者福祉課精神保健担当主査、障害者福祉課援護担当主査  
障害者福祉課事務職員（3名）

■傍聴者：あり（1名）

■議 事：

1. 前回会議録の確認について 【資料1】
2. 報告事項  
(1) 相談・くらしの部会からの中間報告 【資料2、参考1】  
(2) 就労支援部会からの中間報告 【資料3】
3. 相談・くらしの部会から懇話会開催についての提案 【参考1】
4. その他

■資 料：

【事前配付資料】

- 資料1 平成31年度第1回府中市障害者等地域自立支援協議会会議録（案）  
資料2 相談・くらしの部会中間報告  
資料3 就労支援部会中間報告  
参考1 これからの府中市の障害者相談支援のありかたを考える懇話会 報告書

【当日配付資料】

席次表

## 議事

### ■事務局

おはようございます。令和元年度第2回府中市障害者等地域自立支援協議会を始めさせていただきます。本日は委員18名中11名の出席となり、本協議会規則第4条第2項の規定に基づき開催に必要な委員定数を満たしておりますので、有効ということで報告させていただきます。本日の会議ですが、おおむね2時間程度を予定しておりますので、ご了承ください。併せて議事録を作成のため、録音させていただいておりますので、恐れ入りますが最初の発言の際には、職氏名を名乗ってからご発言いただきますよう、議事運営にご協力をお願いいたします。それでは本日お手元にお配りしました資料の確認をさせていただきますと思います。

(資料の確認)

何か不足しているものがございましたら挙手にてお知らせください。よろしいでしょうか。ここから議事の進行は会長にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願ひします。

### ■会長

改めましておはようございます。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。会議を始めます前に本日は傍聴希望の方がいらっしゃるかと伺っておりますので、会議公開規則に従いまして傍聴許可したいと思います。皆様ご承認いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員より承認、傍聴人入室)

それでは早速、次第に従って議事を進めて参ります。

#### 1. 前回会議録の確認について

### ■会長

まず次第の1. 前回会議録の確認についてです。事務局から説明をお願いします。

### ■事務局

資料1についてご説明いたします。平成31年度第1回全体会の会議録案でございます。内容については記載の通りでこの内容でよろしければ、通常通り会議録の公開を予定しております。ご確認をよろしくお願ひします。以上です。

### ■会長

ありがとうございました。事前に皆様にお諮りして若干訂正が入ったかと思いますが、本日配られましたものについて、更に訂正が必要なところがあれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(発言者なし)

■会長

よろしいでしょうか。それではこちらの内容で公開の手続きに入らせていただきます。よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

■会長

続きまして次第の2. 報告事項になります。ここで各部会の代表の方から順番に報告をしていただきます。各部会からの報告の後に質疑応答の時間を設けますので、ご質問のある方はその時をお願いします。

(1) 相談・くらしの部会からの中間報告

■会長

始めに相談・くらしの部会からの報告です。委員から報告をお願いいたします。

■委員

相談・くらしの部会からの報告です。資料2をご覧ください。現状なのですが、地域生活支援拠点等について、第5期障害福祉計画では平成32年度末（令和2年度末）までに「各市町村又は各障害保健福祉圏域に少なくとも1か所の整備」を基本としているが、府中市では整備が未だ進んでいない。障害者の重度化・高齢化、親亡き後を見据え、地域全体で障害者を支える体制が求められている。平成31年3月の府中市障害者等地域自立支援協議会答申書で相談支援部会からの答申として、基幹相談支援センターの設置についてとりまとめた内容も踏まえ、府中市の実情に応じた地域生活支援拠点等の整備に向けた検討を進めて行くことが必要な状況である。そのような現状に対しまして、検討テーマとして「府中市において市民の方々が障害の種類や程度に関わらず、安心して地域での生活を送られるような支援体制を整えるために地域生活支援拠点等の整備に関して必要な機能を検討する」ということで、部会の議論では府中市で地域生活支援拠点等の目的を「いろんな障害があって

も、地域で一人暮らしが出来ること」と整理している。

続きまして、取組の経過ですが、令和元年度の取組になります。まず相談・くらしの部会での地域生活支援拠点等の整備に関する検討というところです。今年度上半期に3回の部会を開催し、府中市で地域生活支援拠点等を整備する目的、方向性について検討した。詳細は後段にて説明をさせていただきます。続きまして、「これからの府中市の障害者相談支援のありかたを考える懇話会」の開催をしました。令和元年6月26日(木)に市内12の関連団体・個人を招いて、上記の懇話会を開催した。懇話会では平成31年3月の第6期府中市障害者等地域自立支援協議会答申書から相談支援部会の答申内容を参加者に説明し、参加者から答申の内容や府中市における相談支援の在り方についてのご意見をいただいた。懇話会の具体的な内容は参考資料1の「これからの府中市の障害者相談支援の在り方考える懇話会報告書」を参照ください。続きまして、地域生活支援拠点等に関する厚生労働省担当者説明会の開催をしました。令和元年9月4日(水)に厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活推進室より藤川雄一専門官を招いて、上記の説明会を開催した。厚生労働省の行政説明資料を用いて、地域生活支援拠点等の整備を進めたい国の意図や全国レベルでの実際の整備状況、先駆的な活動をしている自治体の例などの説明がありました。府中市において今後検討を進める上で、「①地域生活支援拠点等の機能について話し合う前に、府中市の地域特性と今府中市で何が必要とされているのかをよく吟味すること」、「②個別事例をベースとした議論からシステムとして整備することが必要なものを検討すること」という視点を持つことが必要であることを藤川氏より助言されました。続きまして、八王子市(地域生活支援拠点等整備先行事例)への視察を行いました。令和元年9月24日(火)に八王子市福祉部障害者福祉課及び地域生活支援拠点事業所(2か所)職員より八王子市の地域生活支援拠点事業の説明をいただき、委員及び事務局から質疑応答をしました。八王子市は国が拠点事業を示す前から抱えていた地域課題を解消するための方策として、「制度の狭間にいる人を救うこと」を目的とし、面的整備で現行のサービスにない地域生活支援やアウトリーチ支援を行うことで地域の社会資源のネットワークによる切れ目のない支援を実施していました。

続きまして、詳細を説明させていただきます。1番の「地域生活支援拠点等という国の施策の概要と意図を把握する」というところですが、部会ではまず検討の前に地域生活支援拠点等という施策について知ることが必要であるとの認識が共有され、下記のことを実施いたしました。重なってしまう部分もあるのですが、(1)事務局より厚生労働省作成の資料を用いて、地域生活支援拠点等についての概要説明、(2)厚生労働省の担当者を招いて、説明会を実施、(3)地域生活支援拠点等をすでに事業化している八王子市の視察をしました。続きまして、2番の「地域生活支援拠点等

を整備する目的を明確にする」というところですが、今後の部会での議論においては、府中市の地域生活支援拠点等整備は、「いろいろな障害があっても、地域で一人暮らしができる」という目的を達成するために行うものであると確認をいたしました。最後に3番の「地域生活支援拠点等の機能について」国の資料等では、地域生活支援拠点等の機能として次の5つが挙げられております。それは「①相談、②体験の機会・場、③緊急時の受け入れ・対応、④専門性、⑤地域の体制づくり」です。この中には平成30年度までに相談支援部会が検討してきた、府中市の基幹相談支援センターに必要な機能と重なるものが含まれておりまして、基幹相談支援センターの設置も視野に入れながら地域生活支援拠点等の機能について、どのように検討していくかを議論しました。(1)地域生活支援拠点等の機能については、「②体験の機会・場と③緊急時の受け入れ・対応」について検討するところから始めることを確認いたしました。(2)体験の機会・場の利用や緊急時の受け入れ・対応といった機能について、必要としている方に有効な支援を提供するための体制作りをどのように行うか、部分的に検討いたしました。結論は今後の検討に持ち越されております。以下、会議開催状況と内容につきましては資料2をご参照ください。以上、相談・くらしの部会からの報告となります。

#### ■会長

はい、ありがとうございました。ただ今相談・くらしの部会の報告をしていただきました。ご質問・ご意見ありましたら伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(発言者なし)

#### ■会長

よろしいですか。今の報告の中にもありましたように具体的に府中市の中で何が課題になっているのかということ、皆が共通認識を持ってそれに対してどういう整備の仕方をして行くかということをも具体化していく作業になります。ですから今、ここの委員に選出されている皆さんは色々なバックグラウンドをお持ちですので、それぞれのところで日々抱えている課題を適宜具体的なものをどんどん出していただいて、それを解決するために府中市の中で今何が足りているのか、どういった機能が必要でこれから何を作っていかねばいけないのか、ということぜひ出していただきたいと思っております。その点につきましてはこれからまた相談・くらしの部会の中で検討を進めていきますが、部会に入っていない方からもぜひ自分たちの周りでは今こんなことで困っているよというようなこと、具体的なものをどんどん出していただきたいと思っておりますし、それにつきましては部会や全体会は間

が空いてしまいますので、その前に事務局経由でどんどん出していただければ、実りある協議に繋がっていくかなと思います。併せまして皆さんが所属されている事業所の方たちはおそらく連絡会とか、色々な会議の場があると思いますのでそういった中で出されてきた地域課題をぜひ部会の方に提出して頂くことで、必要な面的整備に繋がっていくと思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。では続きます。何かまたお気づきの点がありましたら、事務局の方に出していただければと思います。それでは相談・くらしの部会の皆様におかれましては、今後も検討を進めていただきたいと思います。

## (2) 就労支援部会からの中間報告

続きまして2番の就労支援部会からの中間報告を委員からお願いいたします。

### ■委員

就労支援部会の中間報告をさせていただきます。ここまで今年度は4回の会議をしてきました。その中で現状についてお伝えします。まずは「障害者の雇用の促進等に関する法律」の改正によって、平成30年度から障害者の法定雇用率が引き上げられました。そして雇用の拡大が期待される中で、障害者本人だけでなく雇用する企業側にも悩みがあるということが、昨年度開催された障害者雇用相談会において明らかになりました。そこで障害者雇用を促進するために障害者本人及び企業に対して、雇用に繋げるための支援が必要であることが確認されましたので、企業についての支援がどういうものかということを検討することにしました。検討テーマとしては「市内の就労支援について課題を整理してハローワークや庁内実習実績、関係機関からの意見等を得ながら議論を進め就労を長く継続するためにより良い方法を課題や背景を基に意見を集約する」とし、協議を進めました。取り組みの経過ですけれども、今年度としましては「障害のある方が安心して働き続ける地域、社会を構築する」をメインテーマとして雇用する企業に対する支援方法や雇用を目指すための周知等を検討しました。今後、障害者本人に対する支援について検討していく予定です。イメージとしては資料3の図にありますように本人と企業の間で安心して働く、安心して雇う、「生活・働く」を支えることや「雇う」を支えるという仕組みについて。就労を支える資源として学校や就労支援センター、ハローワーク、就労支援事業所等の資源があるということが確認されました。検討結果としては「障害のある方が安心して働き続けられる地域の構築について」ということで、障害者雇用の促進について企業向けの簡単なわかりやすいリーフレットを作ってみたらどうか、それから昨年度も行いましたが雇用相談会を行う。雇用する側の人たちが障害

者雇用について知ってもらうというようなことをしたり、職場体験を積極的に受け取ってもらうようにして障害者雇用の実態を知ってもらったりしたらどうかという意見が出されました。また雇用後の定着支援というところでは雇用をしても何の仕事をしてもらっていかかわからないというところで、仕事の切り出しの支援をしていかなければいけないという課題があります。またライフステージが変わっても必要な支援を継続して受けられるよう、本人の障害特性がわかるようなプロフィールシートを作成する。高校時代のプロフィールシートは次に繋げるためにとっても有効なのですが、そういうものが繋がれていかなかったりする場面も多いので、ちゅうファイル等を活用して次の人に本人の特性がわかるように繋げていくことで、本人の定着に繋がるのではないかという意見が出されました。それからテーマとして「府中市の障害者が府中市で働くためにできること」について、府中市の障害の方々が多く遠くにしか働く場がなく通勤自体が負担となり、なかなか定着に繋がらなかったりする部分もあるので、極端な言い方かもしれないのですが、府中市の障害者等の安定と雇用の安定というところで、府中市の障害者が府中市で働くというテーマを作ってみました。まず中小企業の雇用促進を行う。それから就労支援する資源の役割の明確化を行い、役割が果たせない部分を明らかにしていく。例えば市としてみなが会社訪問や面談を行うことが十分に出来ていないということや、企業へのアプローチが十分に出来ていないということについて今後もう少し具体的に検討して行こうということになっています。会議録の内容については資料を見ていただければと思います。以上です。

#### ■会長

ありがとうございました。ただいま就労支援部会のご説明をいただきました。内容につきましてご質問、ご意見ありましたら伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。はい、委員。

#### ■委員

1 ページ目の取り組み経過のところでは就労を支える資源の中に障害者職業センターが入っていないのですが、職業センター等の活用は今のところ検討にないという感じでしょうか。

#### ■会長

委員をお願いします。

#### ■委員

こちらは主なものになっていまして、職業センターもそうですが東京都心身障害者福祉センターなど広くいくとたくさんのところがあります。小平にある東京障害者職業能力開発校と国立職業リハビリテーションセンターもあります。就労を支える資源については板書していろいろなところ関わっているのを確認しながら協議してきました。その他、今は民間のところもいろいろ支援をしてジョブコーチなども行っているところもありますので、しごと財団ですとか様々なものが入っています。資料には一番近いところだけを記載しているところです。以上です。

#### ■会長

ありがとうございます。そうしましたら資料3の図下、就労を支える資源のところに、もう一つ丸ポチで「その他」と入れていただいた方が誤解は少ないかもしれないですね。他にご質問・ご意見ありましたら伺いたいと思います。よろしいでしょうか。就労に関しては就労のところも大変大事ですが、定着支援が本当に大事なのだろうなということがいろいろ伺っておりますので、その部分をいろいろ工夫するための仕組みを考えておられるということなので、今後ともぜひご検討をよろしくお願いしたいと思います。こちらの資料はおそらく公開のときに添付されると思いますので、私の方から1点お願いがありますが、最後のページで第4回の下の方に「各機関の役割の明確化」というところで、「HW」はおそらくハローワークのことだろうと思いますが、皆さんわかるとは思いますが、誤解のないようにということならば「ハローワーク」と書いていただいた方がより一般的な方にわかりやすいのではないかと思いますので、出来ればここは修正していただけたらと思います。よろしいでしょうか。それでは就労支援部会からの報告については以上となります。では次の議事に入ります。

### 3. 相談・くらしの部会から懇話会開催についての提案

#### ■会長

次第の3. 相談・くらしの部会から懇話会開催についての提案ということで、委員からお願いいたします。

#### ■委員

相談・くらしの部会から懇話会開催についての提案をさせていただきたいと思います。先ほどの部会の経過報告の中でもご説明させていただきました懇話会についてなのですが、市内各団体あるいは当事者の方から多数の貴重なご意見をいただきました。今回は初めての開催ということもあり、前期答申の相談支援部会の内容の



みを取り上げることとなりましたが、相談・くらしの部会では今後も同様の懇話会を自立支援協議会全体として継続的に実施していくことで、市内各団体・当事者の方のご意見をいただくことのできるより良い機会を持つことが出来ると考えております。自立支援協議会の議論を広く知ってもらうためにも、来年度以降懇話会の継続的な開催を自立支援協議会として行っていくことを提案したいです。以上です。

■会長

ありがとうございました。ただいま自立支援協議会としてこういった懇話会を継続開催することのご提案をいただきました。当日はたくさんの委員の方にもお忙しい中にも関わらずご出席いただきましてありがとうございました。皆様から開催することについてのご意見・ご質問を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(発言者なし)

■会長

よろしいですか。私の個人的な感想としては、当事者の方にお越しいただいていろいろなご意見を伺えたというのは、とても貴重な機会だったなというふうに思いました。なかなか18人の委員の中では捉えきれないようなところからの貴重なご意見をいただきましたので、広く26万人いる府中市民の人たちが一人でも多くの方がいろいろなところに繋がれるためにどうしたらいいかというようなことを、考えるための非常にいいきっかけであったなというふうに思っておりますので、私自身も個人的にこういった機会はぜひとも続けていただくべきだなというふうには考えております。よろしいでしょうか。では今後もこういった懇話会を継続開催する方向で事務局には検討していただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

4. その他

■会長

続きまして次第の4. その他になります。事務局から連絡事項お願いいたします。

■事務局

事務局から1点お知らせとお願いです。次回の全体会開催の日程についてです。次回の全体会の開催は、来年1月下旬から2月上旬を予定しております。この時点でご都合の悪い日程等ございましたら、帰りがけに事務局までお申し付けください

ますようお願いいたします。事務局からは以上です。

■会長

ありがとうございました。極力多くの方にご参加いただけますように皆様の日程の調整のご協力をお願いしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。